

# エッグナース

6月4日(土)9時半から、高知生協病院で DANS 準備の会(第3弾)を行いました!



# DANS in 島根!

Dear Active Nursing Students

⇒親愛なる看護師をめざす学生が、一緒に学び合い仲間たちと活発に交流している!という意味の企画です

## 事前学習会

### 第13回中四国DANSテーマ

心配してください! 原発再稼働始まってますよ!? ~見直そう 原発とみんなの命~

講師: 下本節子氏

美容サロン「SBプランニング」を経営。エステも含め、メイク・色彩・表情筋・ヨガ等「心を元気にする美容」をモットーに施設訪問やボランティア活動も行っている。そして、ビキニ被災船員ご家族として国賠訴訟の運動を起こして活動されています。



# 「原発事故50年後のために」

## ~ビキニ事件元船員と家族、国賠訴訟に立ち上がる~

### どうして国の責任を問う裁判の原告になったのか?

父が室戸のマグロ漁船第7大丸に無線士で乗っていました。1954年3月1日アメリカがビキニマーシャル諸島で行った水爆実験に遭遇して被爆していました。しかし、父は一言もその事をしゃべらなかったで、全然気づかなかったんです。

#### 【なぜ、父の被爆を知る事になったのか?】

今から30年位前に山下正寿先生(太平洋核実験被災支援センター事務局長)達が室戸で健康調査をしたときに、父が参加をしたと母から聞いていました。そして14年前に父が亡くなり(胆管癌)その2年後、「もうひとつのビキニ事件」という山下先生の本で第7大丸の被害の実態を知りました。その後、山下先生達の「関係者の方、ご連絡をください。」という呼び掛けでお電話をし、深く知るようになりました。

#### 【「ビキニ事件は過去の事ではない」とスイッチが入ったのは】

福島原発事故が起こり、しきりと「ただちに影響はない」と報道されているのを見て「ビキニ事件と同じだ!」と思いました。

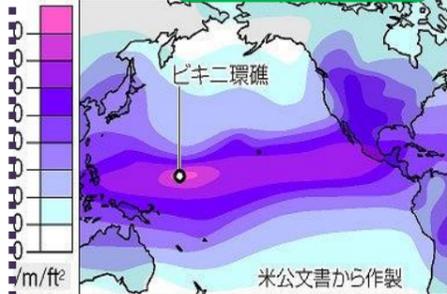
#### 【船員保険労災・遺族年金の申請そして裁判へ】

当時被爆した船は指定された港へ戻り、放射線量を調査され、被爆マグロは海へ捨てられました。「その時の資料を出せ」と山下先生達は30年に渡って粘り強く請求してきました。今回申請を決めたのは、「そういう資料はない」と隠し続けた政府への告発だと考えたからです。

#### 【高知から運動を起こす責任・役割】

ビキニ事件で被災した船はおよそ1000隻。その1/3が高知の船です。高知から行動が起きることで、全国にいる被爆船員とそのご家族も立ち上がっていく事でしょう。そういう意味で、非常に注目されています。

### ① そもそも



そして、死の灰はマグロ漁船操業区域を中心に東西に大きく広がり、世界規模で確認されました。

### ビキニ事件とは...

1954年3月1日

ビキニ環礁で米軍により行われた水爆実験(キャッスル作戦・ブラボー実験)である。

#### ブラボー実験

広島原爆の1000倍の威力!!!

漁船・第五福竜丸の水爆実験による被曝は広島・長崎への原爆投下に次ぐ「日本を巻き込んだ第三の原子力災害」

そして、日本は原子爆弾と水素爆弾の両方の兵器による原子力災害を経験した国!!!!

### 被災船総数のべ992隻 カツオ兼業船を合わせると1200隻



うち、高知県の被災船(マグロ廃棄船)は1/3をしめていた。



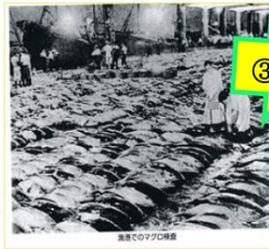
第五福竜丸は、「死の灰」を浴びた漁船! 乗組員の23名が被曝

### 検査対象は船体とマグロ

漁船員は、スクールで身体をあらひ、海水風呂に、マグロの内臓を食べていた。

#### つまり...

漁船員は体外被曝と体内被曝をうけ苦しむことになる。突然の検査打ち切りで全国の台所に核問題をもち込んだ事件



### 「核の平和利用」という名のもとに 原発導入、そして消されたビキニ事件

日本国中に「核廃絶」の署名運動が盛り上がる中、アメリカと日本政府は、マスコミや政界の大口を使い「核の平和利用」という名の大きな大宣伝を行います。その中で、被災船への莫大な補償金はわずかな見舞金でうやむやに解決されます。被ばくマグロの投棄も放射線量を調査するのも、その年の12月にプツリ打ち切られるのです。そして翌年1955年に原発が日本に導入されます。

アメリカにとっては、ウラン燃料の世界市場化 日本を核戦略の防衛線にする 原爆投下による世界からの批判を回避する目的 日本政府と大手水産業界にとっては これ以上騒ぎが大きくなると魚が売れなくなる。 原発導入を積極的に推進する目論見

30年前の室戸健康調査の時、高知医療生協の森先生、そして今回「船員保険の申請をしませんか?」と声をかけてくださったのは、静岡の浜北医療生協のきさま先生です。社会的に弱い立場の人は、声を上げることができない。医療生協ってというのは、本当に大切な存在です。

⇒さらに30年、粘り強く調査記録を山下先生は請求し続け、ついに一昨年、公開され政府はビキニ事件を認めた結果となった。

だから立ち上がる! 放っておけない!

そんなに日本のバカバカしいほど用い変化に、ビキニでの被爆体験のある元船員は、黙然と口を閉ざして30年が経過します。

## 幡多高校生ゼミナール

1983年夏、幡多郡下公立高校9校の生徒・教職員で結成



偶然にも 1985年ビキニ被災漁船員の存在に突き当たった。

船員名簿・船主名簿を入手 宿毛・室戸の漁村1軒1軒訪ね歩く高校生

浮かび上がる漁船員の深刻な健康問題 「ただごとではない」という実感

1985年9月16日 高知県ビキニ水爆実験被災調査団結成

9月16日県下の科学者・医師・被災者・漁船員・平和運動家・教職員を中心とした



### 参加した看護学生たちの感想

- ビキニ事件について本当の事を知ることが出来た。原発=明るい未来というのは、このビキニ事件での負の遺産について知らないから、放射能の恐ろしさを知らないからだと思った。決して明るい未来ではなく、原発問題は日本人一人ひとりの課題であると思った。
- 幡多ゼミナールの活動がなかったらビキニ事件の事を知ることが出来なかった。うまい言葉で広められた都合のいいことだけを信じてしまう事になる。真実を知る事が大事だと実感した。
- 精神的にも身体的にも、何十年も追いつめられていた人々がいる。情報操作され人間を全く重視しない国や利益を優先される状況が繰り返されている。高知に生まれたものとしても、言えなかった思いを聞き伝えていく責任があると思う。
- 資料を60年も隠していたり流さなければならぬ情報を提供しない政府は信用できないと思いました。被ばくをC型肝炎と判断し、治ってもいないのに帰らせるのもおかしいと思います。
- 被ばくした事を言いたくても言えない、伝えられない恐怖は創造を超えるほど大きいものだと思います。自分が知ろうとしなければ何も情報は伝わってこない。
- マスコミやネットが普及して、この手段を使うのは大切だと思うけれど、曖昧だし本当かどうかも分からない為、被爆者やご家族からお話を聞く事が大切だなと思った。
- これから医療従事者として働いていく私たちにとって、患者さまに正しい知識や情報を伝える事は看護師にとって大切な役割であり、今回の体験談が今後の自分の看護観につながっていくと思った。
- 言いたい事が言えないストレス、こちらから聞く姿勢が大事。様々な事に対して興味を持ち聞くという事は大切! 今後、臨床で活かしたい。

